

【選択:博物館を利用した教育プログラムと資料の活用法】

■開講日程

- ◇事前学習期間 2020年11月6日(金)～11月22日(日)
◆双方向型ライブ配信日時 2020年11月29日(日)13時～15時
❖修了試験 2020年11月29日(日)15時～

- 担当講師 柿崎 博孝 (教育博物館 教授)
宇野 慶 (教育博物館 准教授)
栗林 あかね (教育博物館 講師)

- 主な受講対象者 小学校教諭、中学校教諭

■講習の概要

この講習では博物館の役割や活動を理解し、学校教育との連携、および博物館資料の活用という面から、博物館における学びの機能と資料を活用した教育プログラムの可能性を探っていく。また理論面での講義のほか、ギャラリートークやワークショップなどのプログラムをもとに、博物館の教育活動を具体的に体験することで、博物館と学校教育に関する今後の展望について考えていくことをねらいとする。

■到達目標

1. 博物館の役割や活動の全般的な内容について理解する。
2. 博物館の教育活動の内容、博物館における利用可能なコンテンツ、利用方法を理解する。
3. 博物館の教育プログラムの実践的知識や技術を理解する。

■講習内容

◇事前学習(3時間:課題含む)

1. テキスト学修、ビデオ・PPT 配信学修
 - ①博物館を知る—機能と活動／博物館教育の特徴
 - ②博物館と学校教育の連携／最近の動向

◆双方向型ライブ配信(2時間)

1. 対話型ギャラリートーク (第二展示室)『美術資料』
2. 江戸時代の和装本を使用したオンラインワークショップ (第一展示室)
 - ・ワークショップの種類と方法
 - ・ワークショップ (和装本をつくってみよう)

■受講上の参考資料(いずれも本学より無料送付)

- ・テキスト:柿崎博孝・宇野慶『博物館教育論』(玉川大学出版部 2016)
- ・ワークショップ:ワークショップ用材料 (和紙・針・綴じ糸)